



地域と結ぶ

順天堂大学練馬病院ニュース



地域の皆さまの
心と身体のオアシスで
ありたいと願っています。
何なりと
ご相談ください。

当院が誇る コメディカルスタッフ紹介

リハビリテーション科 准教授 黒須昭博

リハビリテーション科主任紹介

理学療法士 石田利江

石田さんは、理学療法士として順天堂大学病院に入職し、順天堂大学練馬病院開院に際し、主任として現在に至るまで一緒に働いている女性です。専門は脳障害に対するリハビリテーションであり、世界的に有名な国際ポバースアプローチアソシエーションのベーシックインストラクターの資格も有し、国内外で活躍しています。そのため、彼女の腕はかなりの評判です。

当院開院以来日常の診療の傍ら、年に数回、全国の療法士のための講習会を開き後進の指導にも力を注ぐなど、リハビリテーションの発展にも尽力しています。僕としても頼もしい存在です。



リハビリテーション科
准教授 黒須 昭博



理学療法士
石田 利江

臨床検査科 准教授 小倉加奈子

臨床検査科紹介

臨床検査技師 大澤和彦

臨床検査技師の大澤さんは、臨床検査科主任として検査業務だけではなく、病院全体で大活躍しています。検査業務では、主に超音波検査を担当していますが、消化器、循環器そして血管領域の認定超音波技師であり、その技量は臨床各科の熟練したドクターが頼りにし、また、研修医に技術指導を行えるほどです。研修医教育にも力を注ぎ、昨年度はその功績が称えられ「ベストチューター特別賞」を受賞されました。一方、病院全体では、病院内の各種委員会で活動され、臨床各科そして他のコメディカルの方と密な連携をとり、より質の高い診療を患者さんに提供するために日々努力しています。

これからも研修医(そして私?)の「お兄さん」的存在として頼りにしています!



臨床検査科
准教授 小倉 加奈子



臨床検査技師
大澤 和彦

当院が誇る コメディカルスタッフ紹介

薬剤科

教授 比留間 政太郎

感染制御認定薬剤師紹介

薬剤師 岡崎千絵

岡崎さんは、薬剤師として本郷の順天堂医院に入職し、順天堂大学練馬病院開院に際し主任として当院へ異動となりました。

感染制御認定薬剤師の資格を取得し、感染対策委員会、抗菌薬届出制の事務局業務をこなす傍ら、薬剤科内のシステム管理者としても精力的に働いています。

性格は明るく親切で、いつも笑顔を絶やしません。また、正確かつ緻密な仕事ぶりは、スタッフ間の信頼も厚く大変期待できる存在です。学会にも積極的に参加し、薬剤師としての研修を重ねています。平成22年度の診療報酬改定で感染防止対策加算が可能となり、専任薬剤師として活躍されています。



皮膚・アレルギー科
教授 比留間 政太郎



薬剤師
岡崎 千絵

放射線科

先任准教授 尾崎 裕

医学物理士紹介

医学物理士 黒河千恵

黒河さんは、北海道大学大学院で物理学を専攻し博士号を取得後、平成19年に順天堂に来てくれました。放射線治療の精度管理について学ぶため2年間米国留学した後、現在では当院を中心に技術・安全面から順天堂の放射線治療を支えています。

本当はコンピューターのような頭脳の持ち主ですが、温和で控え目、いつも僕らを和ませてくれる素敵な女性です。皆さんに直接お会いする機会は少ないと思いますが、当院の放射線治療にはこんな才女が「縁の下の力持ち」でいることをお見知り置きください。



放射線科
先任准教授 尾崎 裕



医学物理士
黒河 千恵

内視鏡センターより

センター長 川邊 正人・副センター長 大久保 裕直

消化器内科 准教授 川邊 正人

4月より、内視鏡センター長に就任しました。

当センターは、胃や大腸の内視鏡ばかりでなく、カプセル内視鏡も行っています。

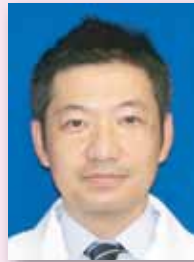
ほかに、呼吸器系の検査としての気管支鏡や胆膵系の内視鏡も扱い、全体で年間約6,000件の

検査を行っています。これらの検査は、内視鏡指導医・専門医をはじめ内視鏡技師の資格を持つ看護師を中心に充実したスタッフで運営しています。

機器に関しては、最新の内視鏡を導入し、またNBIシステムといった最先端の画像処理機能を組み入れ、診断精度を高める工夫もしています。

内視鏡での治療も積極的に行い、ポリープ切除に対し粘膜切除術(EMR)はもちろんのこと、粘膜剥離術(ESD)といった高度の技術も行っています。

これからも安全かつ確実な検査・治療を行える環境作りを心がけていきますので、よろしくお願いいたします。



センター長 川邊 正人



副センター長 大久保 裕直

消化器内科 准教授 大久保 裕直

当センターは平成17年7月最新の内視鏡設備を整え、当院開院時に開設されました。当院の1階に内視鏡検査室4室、内視鏡専用X線透視室1室、リカバリー室を備えています。消化器内視鏡分野では上下部消化管内視鏡検査、内視鏡的逆行性胆膵管造影を主体にさまざまな消化管、胆膵疾患に対して内視鏡的検査・治療を行っています。一方、呼吸器内視鏡分野では気管支内視鏡のみならず、超音波気管支鏡下生検という最先端の検査まで施行しています。

安全で、苦痛の少ない、質の高い内視鏡診療を提供するとともに、患者さんに優しく、安心して検査を受けられるようスタッフ一同で心がけていきたいと思っています。

総合診療・性差科について

総合診療・性差科 先任准教授 大蔵 隆一

練馬病院ニュースNo.21に引き続きご挨拶を申し上げます。

総合診療科は、この病院で最も日差しが入る明るいKブロックで外来診療をしています。

今年から常勤医3名、大蔵隆一、吉方りえ、朴宗晋を中心に診療をして参ります。



先任准教授 大蔵 隆一



講師 吉方りえ



助教 朴宗晋

当科の診療の柱は、

- 1.初診外来にいらした方を、適切な診療科へご案内する「振り分け」診療。
- 2.「プライマリーケア」医の養成。
- 3.医学部学生、臨床研修医の教育指導。

です。

当院には各種専門科が外来、病棟を担当していますが、患者さんご自身がどの科を受診したら解らない場合は、まず当科を受診していただき、診察、検査の後、適切な診療科をご案内したいと思います。

また、将来「プライマリーケア医」、「家庭医」を目指す若い医師の外来技術研鑽の場にもなります。さらに、初期研修医、医学部学生の研修も当科の大切な役割です。

将来のかかりつけ医を育てる気持ちで、未来の医療を支える気持ちで受診されるようお願いいたします。

関節リウマチと炎症性サイトカイン

膠原病・リウマチ科 准教授 名切 裕

関節リウマチでは、“免疫”と呼ばれる身体の中の自衛隊たちの一部が異常となり、炎症に関与する細胞たちが各所関節にたくさん集まり、炎症性サイトカインといわれる物質(腫瘍壊死因子:TNF- α 、インターロイキン6:IL-6など)が過剰につくられているということがわかっています。この炎症性サイトカインが、多くの関節の痛みや腫れ、さらには骨や軟骨の破壊、関節変形に大きく関係しています。



准教授 名切 裕

生物学的製剤とはなに？

生物学的製剤とは、日本では2003年より使われえるようになった新しい治療薬です。上記の炎症性サイトカインなどが治療のターゲットとなっています。

現在、わが国では炎症性サイトカインの一つであるTNF- α やIL-6をターゲットとし、その働きを抑える薬剤が使用されています。

生物学的製剤の効果とは？

TNF- α やIL-6の働きを抑える薬剤は、現在日本では4種類(レミケード、エンブレル、ヒュミラ、アクテムラ)あり、いずれも関節症状を緩和し、今までの抗リウマチ薬と比べて関節リウマチの進行(炎症所見や骨の破壊)を強く抑えこみ生活レベルが大きく改善されることが期待されています。

治療をするに当たって

生物学的製剤で治療をするときに注意すべき合併症として、感染症があげられます。治療開始後も定期的な検査(血液・尿検査、X線検査)をして、その効果とともに副作用が出てこないかを確認していきます。

この新しい治療により、リウマチ患者さんの毎日の生活快適さがより上昇するように、安全に安心して使っていただけるように、当科は今後とも努力してまいります。

順天堂医院の歴史



明治39年に竣工した順天堂医院



明治39年に新築した
順天堂医院病棟内部



明治39年に竣工した順天堂医院新病棟

お茶の水に順天堂医院が竣工したのは明治8年（1875）であった。それから20年余、明治30年前後になると、市内に新しい病院が増えてきた。それに比べて日本建築の順天堂は古ぼけてみえ、設備も時代遅れと、次第に順天堂の評判が落ちてきた。その頃、院長の佐藤進は日清、日露戦争に軍医総監として広島陸軍予備病院で活躍していた。院長は評判の低下を憂い、直ちに新病棟建築に着手して、明治39年に最新設備を備えた洋館が完成した。病室には鉄製のベッドが入り、スチーム暖房となり、病室の壁に5燭の電灯がついた。いずれも日本で最初の設備であった。廊下にストレッチャーを引く看護婦と大野事務長が立つ。

順天堂大学医学部医史学研究室
客員教授 酒井シヅ

インターネットがご利用できます!



利用料金：10分100円
利用時間：7：00～19：00
1号館2階
インフォメーションセンター横
に設置しました。
お気軽にご利用ください。

かかりつけ医はいらっしゃいますか？

当院は皆さんのかかりつけ医の先生と連携した診療を行っています。地域に密着した診療を行うために、そして患者さん一人ひとりに安全で根拠に基づく適切な質の高い医療を提供するために、ご自宅や職場の近くに「かかりつけ医」をお持ちいただくことをお勧めします。

初診でご来院される方は、保険医療機関が発行する診療情報提供書(紹介状)をご持参の方を優先させていただきます。

